

PR/2019/837

ジュネーブ、2019年10月16日

記事差し止め：2019年10月16日水曜日、00:01 ジュネーブ時間
(CEST、GMT+2)

プレスリリース

世界知的財産指標：2018年、特許、商標、意匠の出願数が過去最多を達成

2018年、中国が知的所有権の需要の全体的な成長を牽引したことにより、アジアが特許、商標、意匠の出願全体の3分の2を占めました。一方で、アメリカ合衆国（米国）は輸出市場で申請された特許出願に関して首位の座を維持しました。

WIPOの年次世界知的財産指標（WIPI）報告書によれば、2018年、世界中のイノベーターが330万件の特許出願を申請し、その数は9年連続で5.2%増加しました。国際的な商標出願活動が1,430万件に増加した一方で、意匠は130万件に到達しました。

「アジアは世界経済の中核を担う特許、商標、意匠およびその他の知的所有権の出願活動に関して、他の地域を今後もしのぎ続けるでしょう」とWIPO事務局長フランシス・ガリ氏は述べました。「中国は単独で世界の特許出願の約半分を占めており、インドもまた目覚ましい増加を記録しています。アジアはイノベーションの世界的なハブになりました。」

さらに、世界の植物種出願は8.9%増加し、2018年には出願数20,210件を達成しました。一方で、92の国または地域自治体からのデータには、2018年に65,900件の地理的表示保護（Protected Geographical Indications、GIs）が示されていました。

知的所有権	2017年	2018年	成長率 (%) 2017年-2018年
特許出願数	3,162,300	3,326,300	5.2
商標出願で指定された分類の数	12,395,700	14,321,800	15.5

意匠出願に含まれているデザインの数	1,242,100	1,312,600	5.7
植物種出願の数	18,550	20,210	8.9%
有効な地理的表示の数	n.a.	65,900	n.a.

注記：n.a は「該当なし」を意味します。

特許

2018 年、中国の知財庁は、世界の合計の 46.4%を占める 154 万件という記録的な数字で、過去最多の特許出願を受理しました。その数は上位 2 位から 11 位までの合計にほぼ相当しています。中国知財庁の後には、米国（597,141 件）、日本（313,567 件）、韓国（209,992 件）、欧州知財庁（EPO；174,397 件）が続きます。以上 5 つの知財庁が世界全体の 85.3%を占めています。

上位 5 位のうち、中国（+11.6%）、EPO（+4.7%）、韓国（+2.5%）が出願に関して増加を記録し、日本（-1.5%）および米国（-1.6%）はわずかな減少を示しました。これは 2009 年以来、米国にとって初の出願数の減少でした。

ドイツ（67,898 件）、インド（50,055 件）、ロシア連邦（37,957 件）、カナダ（36,161 件）オーストラリア（29,957 件）もまた、上位 10 位の中で注目すべき知財庁です。これら全ての知財庁では、インドの 7.5%からドイツの 0.3%に至るまで、出願の増加が見られました。

国際特許出願のハブとしてのアジア

アジアは、特許出願に関して最高の実績を上げている地域として、その地位を向上しています。アジアに拠点を置く知財庁は、主に中国の成長により、2018 年に世界で申請された全ての出願の 3 分の 2（66.8%）を受理しました。これは 2008 年の 50.8%と比較して目覚ましい成長です。北米に拠点を置く知財庁は、2018 年の世界合計の 5 分の 1（19%）をわずかに下回り、ヨーロッパに拠点を置く知財庁は 10 分の 1（10.9%）をわずかに上回りました。アフリカ、中南米、カリブ海、オセアニアに拠点を置く知財庁の 2018 年の合計シェアは 3.3%でした。

米国の出願人による国境を超えた特許出願数が最多を記録

新しい市場での事業拡大を望むことを意味する外国での出願に関して、米国居住者は、2018 年に 230,085 件の同等特許出願を外国で申請し、引き続き首位を維持しています。米国の後には、日本（206,739 件）、ドイツ（106,753 件）、韓国（69,459）、中国（66,429 件）が続きます。

2018年、世界の有効な特許数は6.7%増加し、1400万件に到達しました。米国で有効な特許は約310万件で、その後中国（240万件）、日本（210万件）が続きます。米国で有効な特許全てのうち半分は外国からのものであり、一方で中国では、国内の出願人が有効な全特許の約70%を占めています。

商標

2018年、1,430万区分を対象とする推定1,090万件の商標出願が世界で申請されました。出願で指定された区分の数は、2018年に15.5%増加し、9年連続の成長を記録しました。

中国の知財庁は、区分数約740万件で最多の出願活動¹を記録しました。これに米国（640,181件）および日本（512,156件）の知財庁、欧州知財庁（EUIPO; 392,925件）、そして、イラン・イスラム共和国（384,338件）の知財庁が続きます。

上位20位のうち、2017年から2018年にかけて最大の増加を記録したのはインドネシア（+29.1%）、中国（+28.3%）、インド（+20.9%）、韓国（+14.5%）、イギリス（+12.4%）の知財庁でした。

アジアが商標出願でトップに

アジアに拠点を置く知財庁は、2018年の全商標出願活動の70%を占め、2008年から36.2%増加しました。ヨーロッパのシェアは2008年の38.4%から2018年には15.8%にまで減少しました。北米は2018年の世界の合計の5.8%を占め、アフリカ、中南米、カリブ海、オセアニアの2018年の合計シェアは8.4%でした

2018年には、世界中で推定4,930万件の商標登録が行われました。2017年から13.8%増加し、中国単独で196万件、それに米国の240万件、インドの190万件が続きます。

意匠

2018年、130万件のデザインを含む推定100万件の意匠出願が世界中で申請され、前年比で5.7%増加しました。中国の知財庁は2018年に708,799件のデザインを含む出願を受理し、これは世界の合計の54%に相当しました。これに、EUIPO（108,174件）、韓国（68,054件）、米国（47,137件）、ドイツ（44,460件）の知財庁が続きます。

¹ 商標の出願活動とは、商標出願で特定された分類の合計数を指します。

上位 20 位の知財庁のうち、以下 5 つの知財庁がデザイン数で二桁の成長を記録しました。：英国 (+42.4%)、ロシア連邦 (+21%)、イタリア (+16.6%)、インド (+13.6%)、中国 (+12.7%)。

アジアで最多のデザイン活動を観測

アジアに拠点を置く知財庁は、2018 年に世界中で申請された意匠出願全体の 3 分の 2 以上 (69.7%) を占めました。それに、ヨーロッパ (23%)、北米 (4.1%) が続きます。アフリカ、中南米、カリブ海、オセアニアの 2018 年の合計シェアは 3.2%でした

服飾品に関連するデザインは世界の出願活動²の 10.5% を占め、それに衣服 (8.3%)、包装紙および容器 (7.7%) が続きます。

世界で有効な意匠登録の合計数は 6.5% 増加し、400 万件を達成しました。有効な登録の最大数は中国 (160 万件) で、それに韓国 (344,560 件)、米国 (336,116 件)、日本 (257,157 件) が続きます。

植物種

2018 年、中国の関連省庁は 5,760 件の植物種出願を受理し、2017 年から 29%増加しました。これは、世界中で申請された植物出願の 4 分の 1 以上を占めます。中国の後には、欧州植物品種庁 (CPVO；3,554 件)、米国の関連省庁 (1,609 件)、ウクライナ (1,575 件)、日本 (880 件) が続きます。上位 5 位のうち、中国およびウクライナ (+17.1%) が 2018 年に二桁の成長を示しました。CPVO (+3.9%) および米国 (+3.3%) はまた、同様の成長率を記録しました。日本 (-13.6%) は急激な減少を示しました。

地理的指標

2018 年、65,900 件の有効な表示保護が世界中で確認されました。表示保護は、例えばチーズのグリユイエールや蒸留酒のテキーラなど、特定の地理的由来があり、原産地に起因する品質または評判のある製品に使用される表示です。ドイツ (15,566 件) では有効な表示保護が最も多く記録され、それに中国 (7,247 件)、ハンガリー (6,683 件)、チェコ共和国 (6,285 件) が続きます。

「ワインおよび蒸留酒」に関連する有効な表示保護は、およそ 2018 年の世界の合計の 51.1% を占めています。これに、農産物および食品 (29.9%)、手工芸品 (2.7%) が続きます。

² 意匠出願活動とは、意匠出願に含まれるデザインの合計数を示します。

出版業界³

14カ国の出版業界の商業および教育分野がもたらした収益は、合計で425億米ドルでした。米国（233億米ドル）が最大の純収益を記録し、それにドイツ（61億米ドル）、フランス（30億米ドル）が続きました。

英国（51.5%）では、オンラインの販売チャネルが全商業部門収益の半分以上を生み出しました。米国（41.6%）、ブラジル（25.5%）、スウェーデン（23.5%）でもまた、オンラインの販売チャネルによって挙げられた収益が、商業部門の総収益の大部分を占めました。しかし、煉瓦とモルタルの販売経路は引き続き、スロベニア、英国、米国を除き報告された全ての国の商業部門総収益で最大のシェアを占めています。

米国は2018年、商業および教育分野を対象とする出版物を26億部販売しました。それに英国（6億5,200万部）、フランス（4億1,900万部）、トルコ（4億部）が続きます。

³ 出版業界に関する統計は、国際出版社協会および知的所有権機関によって実施された共同調査に基づきます。